

# 八束町水道施設整備事業 概要図



大塚山配水池 710m<sup>3</sup>

大海崎橋の添架送水管 (Φ200)

ダクタイル鋳鉄管GX形 (Φ250)



八束ポンプ場(新設)



朝酌配水池

送水管φ250(新設)  
L=3,536m

送水管φ200(新設)  
L=5,841m

既設送水管を使用



配水用ポリエチレン管 (Φ200)



ポンプ井(SUS製) 200m<sup>3</sup>



水中送水ポンプ  
30Kw×2台

湖底管(廃止)

## 【事業概要】

旧八束町簡易水道は、島根県水道用水供給事業（飯梨川水系）からの受水を水源とし、島根県企業局の今津浄水場で作った水道水を、中海湖底管（約 6.5 km）を通して波入浄水場（ポンプ施設）を経由し、大塚山配水池に送水、八束町全域に昭和 57 年 6 月に給水を開始しました。

このうち湖底管は、塩害に強い特殊ポリエチレン管φ200 を採用しているものの老朽化が進み、平成 14 年度と平成 21 年度に、大規模な漏水事故が発生し、送水が停止、八束町が広範囲にわたり断水する事態が発生しました。こうしたことから、将来にわたって安定供給を行う面で不安を抱えていたため、湖底管に替わる新たな送水ルートを確認していく必要があり、平成 25 年度から平成 28 年度にかけて、島根県水道用水供給事業（飯梨川水系）の受水を水源とする松江水道事業の朝酌配水池より八束町へ向けた陸路に送水管を新たに布設し、波入浄水場内に新たにポンプ井を築造、将来にわたって安定供給を確保する事業を実施したものです。

- 事業整備年度 平成 25 年～平成 28 年度
- 総事業費 7 億 4 千万円
- 事業費内訳 国庫補助金 1 億 8 千万円
- 単独事業費 5 億 6 千万円

## 【施設整備概要】

- ポンプ井（新設）  
SUS 造 7.0m×5.0m×3.0m×2 池 V=200m<sup>3</sup>
- 送水ポンプ（新設）  
φ100×1.75m3/分×62m×30kw×2 台（うち 1 台予備）
- 送水管（新設）  
送水管布設総延長（Φ200～250） L=9,377m

島根県企業局 今津浄水場